



【渡辺副市長が参加した第8回シティネット大会の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 11 月 22 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

第8回シティネット大会に出席しました

11月5日から8日にかけて、アジア太平洋都市間協力ネットワーク（シティネット）の会員都市が4年に一度集うシティネット大会（総会及び実行委員会）が、スリランカ・コロンボ市で開催されました。5日の実行委員会では、横浜市のこれまでのシティネットへの貢献により、引き続き、名誉会長都市及び実行委員都市として活動することが承認されました。

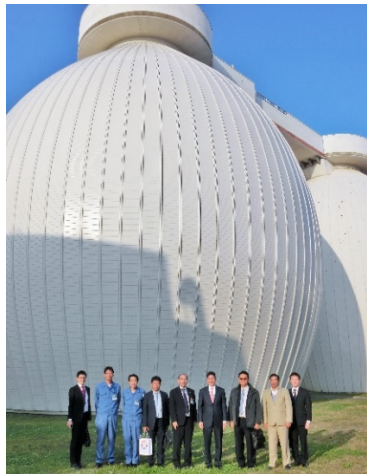


6日のパネルディスカッションでは、持続可能な都市をつくるために国や地域を超えて連携することの重要性について、渡辺副市長がオープニングスピーチを行いました。7日の分科会では、横浜市が引き続き防災分科会の議長都市になることが決定しました。



カンボジアの公共事業運輸大臣が市内施設を視察しました

外務省の招聘により日本を訪問していたカンボジアの公共事業運輸大臣が、11月15日に市内の北部水再生センター、汚泥資源化センターを視察しました。



東京湾の水質改善にもつながっている下水の高度処理施設や、汚泥の処理プロセスで発生する消化ガスなどを有効利用できる環境に配慮した取組みなど、エコロジーに貢献する横浜の施策をご紹介しました。

長きにわたってカンボジアの開発に携わってこられた大臣からは大きな関心が寄せられました。

横浜市フランクフルト事務所が開設20周年を迎えました

今年、横浜市フランクフルト事務所が開設20周年を迎えたのを記念し、11月15日、日頃からお世話になっている独日の関係者30名ほどをお招きし、フランクフルトで意見交換を行いました。



フランクフルト市からは、フェヒター副市長にご出席いただき、また、遠くベルリンやデュッセルドルフから駆けつけてくださったゲストもいらっしゃいました。今後も、同事務所はフランクフルト及びドイツ・欧州と横浜の懸け橋となれるよう頑張ります！

